

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①そう思う</td><td>83%</td></tr><tr><td>②だいたいそう思う</td><td>17%</td></tr><tr><td>③あまりそう思わない</td><td>0%</td></tr><tr><td>④そう思わない</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤わからない・無答</td><td>0%</td></tr></table>	評価結果	割合	①そう思う	83%	②だいたいそう思う	17%	③あまりそう思わない	0%	④そう思わない	0%	⑤わからない・無答	0%	評価結果についての分析・課題	・教職員と保護者のとらえ方に温度差がある。保護者や地域のニーズをふまえて目標や方針を定めるため、より多くの声に耳を傾けていく必要がある。
	評価結果	割合															
	①そう思う	83%															
	②だいたいそう思う	17%															
③あまりそう思わない	0%																
④そう思わない	0%																
⑤わからない・無答	0%																
児童				課題解決への方策	・新型コロナウイルス感染症の状況が好転してきたら、学校公開や授業参観等の機会を従来通りの回数に戻し、様々な声が届きやすくしていく。												
保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①そう思う</td><td>26%</td></tr><tr><td>②だいたいそう思う</td><td>64%</td></tr><tr><td>③あまりそう思わない</td><td>9%</td></tr><tr><td>④そう思わない</td><td>1%</td></tr><tr><td>⑤わからない・無答</td><td>0%</td></tr></table>	評価結果	割合	①そう思う	26%	②だいたいそう思う	64%	③あまりそう思わない	9%	④そう思わない	1%	⑤わからない・無答	0%	学校関係者評価委員会による評価		・学校運営協議会や健全育成推進協議会、PTAを通して地域からの声をさらに聴いていくようにする。
評価結果	割合																
①そう思う	26%																
②だいたいそう思う	64%																
③あまりそう思わない	9%																
④そう思わない	1%																
⑤わからない・無答	0%																
地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①そう思う</td><td>64%</td></tr><tr><td>②だいたいそう思う</td><td>36%</td></tr><tr><td>③あまりそう思わない</td><td>0%</td></tr><tr><td>④そう思わない</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤わからない・無答</td><td>0%</td></tr></table>	評価結果	割合	①そう思う	64%	②だいたいそう思う	36%	③あまりそう思わない	0%	④そう思わない	0%	⑤わからない・無答	0%			
評価結果	割合																
①そう思う	64%																
②だいたいそう思う	36%																
③あまりそう思わない	0%																
④そう思わない	0%																
⑤わからない・無答	0%																

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	①69% ②31% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 ・学校教育目標については年度当初だけではなく、折にふれて話題にしていくようにするとともに、ホームページや学校だよりも使い周知をしていく。
	児童	私は、学校教育目標を知っている。	①66% ②21% ③7% ④7% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 ・朝会や集会だけでなく、学年学級でも学校教育目標に触れ、児童に浸透するようにしていく。
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	①52% ②42% ③5% ④1% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・お手紙を配布しても保護者に届いていなかったり、自治会に回覧してもそもそも自治会に加入していなかったり等も原因の一つではないか。もっと広く目につくよう、例えばスーパーに掲示するなどの方法はどうか。
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	①93% ②20% ③7% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>22%</td></tr><tr><td>②</td><td>65%</td></tr><tr><td>③</td><td>13%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	22%	②	65%	③	13%	④	0%	⑤	0%	評価結果について の分析・課題	・児童の評価を見ると概ね良い評価をもらっている。日頃の研修の成果が表れていると考えるが、「そう思う」と自信をもって答えた教職員は22%しかおらず、12%の児童は否定的な回答を選んでいることから更なる授業力の向上が望まれる。
	評価項目	割合															
	①	22%															
	②	65%															
③	13%																
④	0%																
⑤	0%																
児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>59%</td></tr><tr><td>②</td><td>29%</td></tr><tr><td>③</td><td>9%</td></tr><tr><td>④</td><td>2%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>1%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	59%	②	29%	③	9%	④	2%	⑤	1%	課題解決 への方策	・引き続き授業力向上のための研修を積み重ねていく。	
評価項目	割合																
①	59%																
②	29%																
③	9%																
④	2%																
⑤	1%																
保護者			学校関係者評価委員会による評価	・教職員の評価が厳しめなのは、自分たちが「まだ改善の余地がある」と思っているからではないか。それぞれの先生方が自分に厳しい評価をしていて改善しようとしているのだからいいことなのではないか。													
地域																	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	①15% ②69% ③16% ④0% ⑤0%	評価結果について の分析・課題 ・教職員や保護者と児童の間に「落ち着いた態度」への温度差がある。児童は「自分は落ち着いて学習している」と思っているが、大人が考える「落ち着いた学習態度」には到達していないことが結果に表れている。
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	①46% ②38% ③12% ④4% ⑤0%	課題解決への方策 ・学び合い学習の中で児童が席を移動して話す場面やコの字型の座席で話している場面を見て、「落ち着きがない」「黙って話が聞けていない」等のご意見をもらうこともある。「学び合い学習」では授業内容によって、このような場面があるということも保護者に向けて周知していくことが必要である。
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	①12% ②65% ③20% ④3% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・児童の回答の中で「落ち着いていない」「聞いていない」という自覚があることが面白いというか不思議である。自覚がある児童たちを今後どのように指導していくかが大事である。
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	①42% ②58% ③0% ④0% ⑤0%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	①81% ②19% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 ・組織的な対応に教職員は自信を持って取り組んでいることがわかる。児童もある程度の信頼度をもって教職員を見ている。しかしそれが保護者にはあまり伝わっていない。
	児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	①72% ②23% ③3% ④2% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策 ・学校の指導方針や現在指導していること等を学校だよりや学年だより、ホームページ等を使って知らせていく。
	保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	①30% ②63% ③7% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・先生方に対する信頼感があるということが回答からもわかる。 ・昔のような風紀の乱れは現在見られない。 ・保護者と先生以外の大人と触れ合い、様々な人から声をかけてもらうことも大事である。
	地域			

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	①19% ②63% ③19% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 ・「廊下歩行」「名札」「帽子」等が「きまり」について考えるときに上がってくる本校児童の課題であるが、指導を繰り返していく他に効果的な指導法があるのか模索中である。
	児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	①57% ②34% ③6% ④3% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 ・児童が納得して自らの学校生活における改善点を直していけるよう、指導法を工夫する。
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	①23% ②73% ③3% ④1% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・家庭の中でも学校と歩調を合わせて指導してもらえるよう、周知していくことが大事なのではないかな。 ・保護者が評価をする際、自分の子を基準にして考え評価するので、評価も厳しくなってくるのではないかな。 ・それぞれの家庭が多忙な生活で、子供と向き合う時間が少なくなっているのではないかな。 ・場面場面によって、児童の見せる表情が違うことを踏まえての指導が必要なのではないかな。
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	①58% ②42% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	①11% ②75% ③14% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果について の分析・課題 ・毎年上がってくる本校児童の一番の課題である。校舎内での児童のあいさつには少しずつ改善の兆候が見られており、「昨年度よりあいさつが上手になった」との声も聞かれる。しかし依然として登下校中のあいさつについては多くの保護者の方からご指摘をいただいている。
	児童	私は、すすんであいさつをしている。	①58% ②28% ③11% ④3% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 ・「ほめて育てる」ことを基本として、自らあいさつができるようくり返し指導する。南中生徒によるあいさつ朝会は来年度も継続したい。
	保護者	児童は、家族や近所の人ですすんであいさつをしている。	①6% ②46% ③42% ④6% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・小中ともに児童生徒へのあいさつに関する質問項目の内容を改善した方がいい。「私はすすんであいさつをしている」と聞かれても、それが「校内で」なのか「地域や校外で」なのかがはっきりしていないから児童生徒と保護者や教職員の評価と差があるのではないかな。どこに向かってするあいさつなのかがはっきりとわかれば自己評価も変わってくるのではないかな。
	地域	児童は、地域の人ですすんであいさつをしている。	①38% ②54% ③8% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	①40% ②60% ③0% ④0% ⑤0%	評価結果についての分析・課題 ・地域の方々や保護者の方々にご協力いただき、児童の安心感も高くなっている。しかし保護者の方からは登下校の旗当番についての意見が非常に多く寄せられているため、今後の登下校の見守りについてPTAとも協議していく必要がある。
	児童	安全に、安心して登下校できる。	①70% ②20% ③7% ④0% ⑤0%	課題解決への方策 ・PTAと協力するとともに、地域の皆様にもご協力いただけるよう働きかけていきたい。
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	①37% ②58% ③4% ④1% ⑤0%	学校関係者評価委員会による評価 ・学校評価全体を通してだが、児童と地域の回答割合が似ていて、教職員と保護者の評価が厳しめなのが特徴である。 ・安全に関しては引き続き地域でも見守っていききたい。
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	①57% ②43% ③0% ④0% ⑤0%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	①62% ②38% ③0% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 ・概ね肯定的な評価をいただいている。今後も発信の仕方を考えていきたい。
	児童			課題解決への方策 学校ホームページや学校だよりの他、健全育成協議会や学校運営協議会などあらゆる機会を使って学校の様子を発信するようにする。
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	①27% ②63% ③9% ④1% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 ・小学校の方が評価が厳しい。 ・全体の評価も大事だが、6学年の学年別の割合も見ていった方がいいのではないか。
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	①64% ②36% ③0% □① □② □③ □④ □⑤	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	①27% ②65% ③8%	評価結果についての分析・課題 ・コロナ禍ということもあり、なかなか校内に入っていただくことができず活用する状況にならなかった。
	児童			課題解決への方策 ・学校運営協議会や学校応援団コーディネーターにご協力いただきながら地域人材の活用について活性化していきたい。
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	①23% ②61% ③15% ④1%	学校関係者評価委員会による評価 ・学校運営協議会や学校応援団等をうまく活用していきたい。
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	①38% ②62%	

鶴ヶ島市立南

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境⑪	教職員	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れる など、組織的に環境美 化に努めている。	①42% ②58% ③0% ④0% ⑤0%	評価結果 について の分析・ 課題 ・無言清掃やたてわり清掃など児童の意識を高める取り組みを行っている。今後も改善を加えながら実践を続けていく。
	児童	私は学校をきれいに しようと心がけ、清掃 をしている。	①64% ②29% ③6% ④1% ⑤0%	課題解決 への方策 ・清掃を自分たちでする意義を理解させながら、主体的に取り組めるよう指導をくり返す。
	保護者	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	①28% ②63% ③9% ④0% ⑤0%	学校関係 者評価委 員会によ る評価 ・たて割り清掃をしているという話があったが、違う学年同士が協力したり、教え合ったりできるという点で、とても効果的なのではないかな。 ・清掃のやり方そのものを知らない子も多い。（特にトイレ等）やり方を見て学ぶための「そうじ教室」も必要ではないかな。
	地域	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	①50% ②50% ③0% ④0% ⑤0%	

鶴ヶ島市立南	小学校	評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答
--------	-----	--

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革 ⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	</	